

# 令和7年度第5回聴覚障害者センター指定管理者運営委員会の概要

1 日 時 令和8年1月24日（土）

開会 13時26分 閉会 14時54分

2 場 所 岡山県聴覚障害者センター研修室

3 出席委員 岡山県聴覚障害者福祉協会 東 久示、音田 守利

岡山県難聴者協会 森 俊己、谷口 進

欠席委員 岡山県聴覚障害者福祉協会 竹村 真明、中務 雅裕

岡山県難聴者協会 竹上 敦典

4 会議に出席した者

岡山県聴覚障害者センター 所長 神田 康弘

5 情報保障 岡山県聴覚障害者センター職員 4名

岡山県要約筆記団体連絡会 2名

6 報告事項

- (1) 令和7年11月・12月の月例報告
- (2) 令和7年12月までの各種事業の実施状況と計画
- (3) 令和7年度センター利用者アンケートの結果
- (4) 災害救援専門ボランティア研修会の実施報告

7 協議事項

- (1) 令和8年度センター運営方針（案）

8 その他

- (1) 次回運営委員会の会議日程について

9 協議の概要（○は委員の発言、◇はセンターの発言）

①関係機関や地域社会との連携

○聾学校との連携が進んでいることは、よいことだと思う。

②聴覚障害者の相談業務

○相談件数が22件とある。相談時間が長いことがあるのか。

◇休み時間を割いて、手話通訳の職員が丁寧に対応をしている。また、機器担当職員も対応している。相談時間は、ケースバイケースだと思う。

○他の業務もあるなか、相談業務に時間を割いて大丈夫なのか。

◇相談も業務のうちの一つであり、業務を配分して行っている。

### ③自立支援拠点活動支援事業

○これまで県北での開催をして欲しいと言ってきた。ネックは県北までの交通費である。

◇スタッフの交通費支給については、費用の対象にならない。指定管理の要綱に沿って行っている。交通費を支給するようにするためにには県との協議が必要となる。

○対象費用は何か。

◇確認をお知らせする。

### ④利用者アンケート

○各種事業に対する要望については、どのように考えているか。

難聴者の手話教室についてはどうか。

◇資料の回答に記載のとおりです。

○予算がネックだと思うが、物価スライドは考慮されないので。

◇考慮されると思うが、微々たるものだと思う。

○利用者の地域が県南に片寄っている。

◇センター利用者に無作為にアンケートをお願いしているので、

県北からの利用者が少ないと影響ではないかと考える。

○県北の方々はセンターの存在を知らないのかもしれない。

存在をアピールする働きかけをしてほしい。

◇各団体からも会員さんにセンターを利用するよう呼びかけをお願いします。お互い働きかけしましょう。

○アンケート結果をHPに掲載されたことを、会員に周知してもよいか。

◇ぜひ周知して欲しい。

○ろう協のロッカーをセンターの会議室等に置くことはできるか。

◇県の施設なので、県の許可を受け、使用料を支払う必要がある。

○きらめきプラザ2階のゆうあいセンターにロッカーがあるので、契約して使うことができる。

### ⑤各種事業

○センター行事が決まったら、各団体に連絡しているのか。

県難協とセンターの行事が重ならないよう、知らせてほしい。

◇運営委員会等での情報共有やHPでの周知を行っており、お互い情報共有を行いましょう。

### ⑥ヨメテルについて

○県警が交番での手話リンクを開始している。県警からヨメテルの訓練を勧められた。どのようにしたらよいか。

◇日本財団にお願いしてヨメテルの講師の派遣を依頼してみることが

考えられる。

⑦その他

- 運営委員会をオンラインで開催できないか。
- ◇オンラインは可能であるが、ぜひ対面で意見を伺いたい。
- 各委員の意見に合わせるが、意見として発言した。

10 その他

次回運営委員会の日程  
第6回 3月21日（土）13：30～